

1つの一球を大切に

西中学校
女子バレーボール部

わたしたち西中学校女子バレーボール部は、現在部員25人。朝、放課後、土日とほとんど毎日練習に励んでいます。

指導してくれるのは、音藤秀樹先生と山口恵美子先生。わたしたちのことを思ってくれるやさしい先生ですが、気を抜いたブレイをしたときなどは、厳しい声が飛んでくることも。

バレー部

は、みんな仲が良く、いつ



ねばりのレシーブを

も元気がいいことが特徴です。バレーが大好きな仲間が集まっているので、きつい練習も苦になりません。

わたしたちの目標は、中学校総合体育大会で県大会に出場することです。成田では、吾妻中が強いのです



ブロックを突き破れ

が、以前、吾妻中を指導していた音藤先生によると、攻撃力はわたしたちの方



バレーが大好きな仲間たち

が上とのこと。あとはレシーブを中心とした守りを強化して、ねばり強いバレーを身に付けることが、目標達成のためには絶対必要です。

音藤先生の、同じボールは二度と来ない、一球を大切に最後まであきらめない「言葉」を心掛け、印旛郡のトップを目指しがんばりたいと思います。応援してください。



チームの司令塔

なかまと一緒(30)

郷愁のある音色、余韻を感じる音がいい

八生琴城会(大正琴)



わたしたちは毎月第2・4水曜日に八生公民館で、伊藤宏子先生の指導で大正琴を習っています。

わたしたちにはとてもきれいな音色を出すのはとても難しいです。伊藤先生は、もっと練習をしましょう。慣れれば自然についてくるからおっしゃいます。指の動かし方や間の取り方も納得が行くまで何度でも教えていただけ

ます。基本に忠実に丁寧な指導は、わたしたちには合っています。

慰問に出掛け演奏会を行ったとき、手を合わせて歌を歌いだす人、懐かしい曲に思わず涙を流す人など大変喜ばれました。大正琴は、音楽にあまり縁が無かったわたしたちでも、手軽にでき、仲間と息を合わせ演奏する喜びを感じさせてくれる楽器です。

大正琴で生き生きと



ど幅広いジャンルの曲を弾いています。何といっても大正琴の魅力は、郷愁のある音色だと思えます。弦をはじいたときの響き、余韻がとても心地よいです。みんなでアンサンブルも楽しめる素晴らしい楽器です。また、軽くてどこへでも携帯で



グループで行うには最適な音楽です

市民の

地区別対抗リレーで活躍した少年時代



多田清政さん(下方)

わたしのふるさととは、福岡県の瀬高町です。瀬高町は、福岡県南部の八女市に隣接し、清流矢部川と清水山に囲まれた自然と歴史の町です。

町内の女山には、3 kmにも及ぶ広大な遺跡があり、内部からは太刀や土器などが出土し、邪馬台国伝説の舞台の一つにもなっています。

最近では米だけでなくハウス栽培が盛んで、特に長ナスは生産量、販売高共に日本一になっています。また、セロリは自慢の農作物で、「セロリ」と呼ばれ出荷されています。

子どものころは、神社の境内や広いところを見つけ野球をして遊んだ



子どものころに泳いだ矢部川



り、夏には近くの矢部川で泳いだりしました。泳いだ後には、畑の力をこつそりと。昔はそついつとも許される良き時代でした。

少年時代が一番の思い出といえば運動会。小学1年から6年生まで、地区別対抗リレーの選手に選ばれ活躍することができました。そのときの親の力の入れ方といったら普通ではなかったですね。盛り上がり方が、ほかとは違っていましたから。成田へは、空港の開港に伴ってやってきて、その後、縁があつて下方に住むことになりました。楽しみといえば夏祭りと花火。特に花火は、真下から見ることができ毎年楽しみにしていますよ。

最近、子どもが大きくなってきて感じるのですが、成田にも大学があつたらいいと思いますね。

ふるさとトーク(99) 福岡県瀬高町

ひろば



添田光也ちゃん(玉造)

こんにちは
赤ちゃん 86



赤川斗維ちゃん(加良部)

スクスクのびのび 289

上田朝陽くん(5歳)江弁須
伊吹くん(3歳)

大きくなったらパイロットになりたいんだ。英語を習っているから、英語でお話できるよ。大好きなマウンテンバイクに乗って二人でサイクリングに行きたいな。



ペット大好き 69



伊東みずきちゃん(團護台)
花子(メス)

花子はことしで9歳。とても穏やかなので、友だちが遊びに来て、すぐ仲良くなれます。散歩と餌はお父さんが、夜はわたしと一緒に寝ています。